

マルチクラウド環境におけるセキュリティ態勢管理【オンラインライブ】 (4123224)

クラウド環境では、従来のセキュリティ対策では不十分と言われており、クラウドに適した新たなセキュリティ対策が求められています。加えて、いま問題となっているのが、クラウドの構成ミスや設定ミスなどによるセキュリティの脅威です。実際にクラウドの設定ミスにより、重大なインシデントが多発しているのも事実です。対策として期待されているのが、CCoE(クラウド化を全社的に戦略的に進めるための組織)と言った取り組みや、クラウドの適正管理を行うクラウドセキュリティ態勢管理です。

開催日時	2023年12月20日(水) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリ	共通業務(契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理)・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	小林勝氏 (キンドリルジャパン株式会社 シニアセキュリティアドバイザー セキュリティビジネス戦略マネージャー) サイバーセキュリティ戦略・ロードマップ策定支援などを主な活動としており、クラウドセキュリティ全般、GDPR、CCPA、HIPANIST SP800シリーズなどのGlobal regulation、各種コンプライアンス対応などを得意とし、経営戦略、ビジネス目標達成のためのセキュリティ戦略など攻めのセキュリティ対策に貢献。
参加費	JUAS会員/ITC: 33,800円 一般: 43,000円(1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信(指定会場はありません)
対象	サイバーセキュリティリスクの対策を検討しているユーザ企業のご担当者 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

クラウド環境では、従来のセキュリティ対策では不十分と言われており、クラウドに適した新たなセキュリティ対策が求められています。

加えて、いま問題となっているのが、クラウドの構成ミスや設定ミスなどによるセキュリティの脅威です。

実際にクラウドの設定ミスにより、重大なインシデントが多発しているのも事実です。

対策として期待されているのが、CCoE(クラウド化を全社的に戦略的に進めるための組織)と言った取り組みや、クラウドの適正管理を行うクラウドセキュリティ態勢管理です。

主な内容

第1部 クラウド利用の拡大で、新たに必要になるセキュリティ対策

- ・クラウド利用の拡大で、新たに必要になるセキュリティ対策
- ・これからのクラウドセキュリティのあり方
- ・コンプライアンス管理
- ・アクセス管理、クレデンシャル情報の保護

第2部 組織の戦略的なクラウド促進

- ・CCoE (Cloud Center of Excellence) とは
- ・クラウド推進におけるCCoEの役割
- ・CCoE活動内容
- ・ガイドライン・標準化
- ・クラウド運用考え方

第3部 マルチクラウド管理の課題

- ・クラウド毎に異なる仕様とUI

- ・一元管理の限界
- ・スキル、人材確保

第4部 クラウド態勢管理ツールを活用するためのポイント

- ・CSPM (Cloud Security Posture Management)
- ・CWPP (Cloud Workload Protection Platform)